

広報 ふじかわ

12月号

昭和50年12月1日発行

No. 178

町のメモ

昭和50年11月1日現在

人口	16,524人
増減	先月より + 13人
男	8,169人
女	8,355人
世帯数	3,951世帯
面積	31.09km ²

富士川町 企画課



だまつて歩く！ 効果ある精神面の強化

一小
児童

だまつて黙々と歩くことにより、体を鍛えると同時に、社会生活に必要な精神面の強化をはかろうと第一小学校（渡辺邦男校長）の児童千五十七人は、十日二十五日、学年別に二キロから四キロの道のりを二時間近く歩く「がんばろう会」を開催。

この試みは、十年ほど前から春と秋の年二回行なわれています。

当日は、一、二時限の授業を終えたあと校庭で準備体操をして、一、三、五年生は小池方面。また、二、四、六年生は室野方面へ教師の引率で出発。

児童は二列縦隊でだまつて黙々と歩く。ただ歩くだけでも苦しいところを、元氣ざかりの児童にとってひと言も口をきかずに二時間近くも歩くということは大変難しいことです。それでも道路の右側を整然と歩きとおし、無事学校へ帰ってきました。

渡辺校長は「苦しくてもがんばり切れたという経験は、子どもの将来に大きな心の支えになる」と効果のほどを話していました。

し尿処理場を全面改造

来年の十二月に完成予定

老朽化が激しい三町共同し尿処理場が全面改良され、来年十二月から運転されることになりました。

三町で組織する郡環境衛生組合（管理者、中川国兵衛士川町長）は、し尿処理場増設改良工事の起工式を九月二十七日に現地で開催し、中川町長をはじめ、各町の関係者五十余人が出席、着工を祝いました。

既存の施設は、昭和三十八年四月、処理能力一日三十五キリで稼働され、郡内のし尿の処理を行なってきたが、し尿の増加に伴

なって再三手を加えられ、一日四十五キリ処理できる施設に改良されています。

しかし現在、郡内で集められるし尿は一日約六十キリと、すでに四十八年ころから増加し続けるし尿処理に追い付かず、無理を承知で過剰投入して処理してきました

また、この手の施設は約十三年間の耐用年度切れになっていました。新しいし尿処理場は、当町中之郷小池下の既存施設を大部分取りこわし、総工費三億八千五百五十万円をかけて、

増加に対処できることになりま

す。処理方式は、従来の消化方式活性汚泥方式の併用から酸化処理方式に切替えられます。

なお、し尿の中に含まれる雑物や脱水後の汚泥は、焼却式電気収集機で処理され、脱臭筒などの施設も設置されます。

これらの施設が完備されれば、五十三年三月を目標にした富士地区の公害防止計画である硫酸酸化

昨年を上回る

交通事故死者数

年未年始の交通事故死者をなくす県民運動は、十二月十一日から来年一月十日までの間、県下いっせに行なわれます。この運動は、飲酒運転の追放、ゆっくり走ろう運動の定着化、子どもと老人の事故防止を重点に展開されます。互いにゆずり合い、交通事故の恐ろしさを再認識して通行しましょう。静岡県内の交通事故死者は

物（二時間当り〇・一PPM以下）浮遊粒子（二時間、一立方分中〇・二ミクロン以下）BOD（三〇〇PPM以下）SS（浮遊物質七〇PPM以下）などの基準値を達成できます。

総務課長に 芦川 藤雄氏

中川町長は、先の収入役人事にともない、空席になっていた総務課長に芦川藤雄議事事務局局長を起用するなど、若手の異動を九月二十日付で次のように発令しました（新職）（氏名）（旧職）
総務課長 芦川藤雄 議事事務局
議事事務局 望月宣男 管財室長
局長 林 勝 企画課主幹
管財室長 林 勝 企画課主幹

皆さんの愛の手を

歳末助け合い運動

不幸な子どもや社会福祉施設利用者が、私たちと同じように「明るく楽しいお正月を迎えていただく」と、歳末助け合い共同募金運動が十二月一日から行なわれています。皆さんの善意で募金運動にご協力ください。町社会福祉会（中川国兵衛士川町長）、区長会、仏教婦人会、婦人会などの各種団体のご協力を得て、皆さんにお願いにあがります。

集まったお金や物品は、全部不幸な人たちが社会福祉施設に入居している人たちに、配布されます。

赤い羽根募金

今年も十月一日から三十一日までの一ヵ月間「赤い羽根」共同募金運動が行なわれ、各家庭各法人などのご協力により九十万六千円余り集まりました。募金運動に御協力くださいました皆さんに感謝いたします。

製造業を対象に 工業統計調査

通商産業省は、毎年十二月三十一日現在で製造業、加工業を営む事業所を対象に工業統計調査を実施します。

この調査結果は、各種の経済分析や国および地方公共団体の産業振興、地域開発、公害、交通問題など、各種の行政施策の基礎資料として広く利用されます。

当町では、約百件の事業所が調査対象になります。今年も調査期日が迫り、すでに調査員が準備調査を行なっており、来年そうそう本調査が始まります。調査員がお伺いした折にはよろしく願います。

鳥の飼育手数料

一五〇円が四〇〇円に

メジロ、ウグイス、ヒバリ、ヤマガラ、ホオジロなどの鳥を飼育する場合は、町を通じて県知事の許可が必要です。

この許可に対する手数料は、従来百五十円でしたが、今年の九月から四百円になりました。また、許可書の有効期間は一年間です。飼育する人は忘れないように手続きをしてください。

いっさいの寄付行為を禁止

公職選挙法、一部改正される

きれいな選挙、金のかからない選挙の実現を大きなねらいとして

公職選挙法の一部が改正され、十月十四日から施行されました。

九三三七万円を補正

九月定例会

町議会九月定例会は、九月二十日、役場議場で開かれました。

当日は、地方財政の現況と当面する当町の財政対策についてなど中川町長から一般行政の報告があり、次いで一般質問十七件の答弁

木島公会堂の建設費に対する助成願いなど請願陳情四件をそれぞれ

の常任委員会に付託した後、五十年年度一般会計補正予算など六件の町長提出議案を慎重に審議し、原案どおり可決しました。

可決された町長提出議案のうちおもなものは次のとおりです。

五十年度一般会計に第一回目の補正予算として、歳入歳出にそれぞれ九千三百三十七万円を追加、これで同予算の総額は十二億二千九百八十万円になりました。

この補正予算には、蒲原病院組合負担金（四十九年度欠損金）、庵原地区消防組合、救急医療対策協議会、環境衛生組合などの一部事務組合負担金、および補助金に

英霊よ 安らかに

しめやかに戦没者慰霊祭

多くの戦いで戦死された、四百十三人の英霊を弔う戦没者慰霊祭は、十月十一日、第一小学校体育館でしめやかに行なわれました。

戦没者のご芳名を集録した冊子「富士川町出身戦没者芳名簿」を五百冊作成、遺族全員と当日の参列者に配布しました。

この冊子は、永くその勲功を後世に伝えるため作られたものです。

式は拝礼、黙とう、中川町長の式辞。次いで、遺児を代表して朝比奈千瀬子さん（盛下町）、戦没者の妻を代表して川口よしえさん（新町）が「今日の日本の平和は皆さんのおかげです。私たちは、この平和な祖国をいつまでも守っていきます」と追悼のことはを述べました。

このあと遺族は、父や兄、夫や子の生前を思い出しながら目いっぱい涙

をためて、参加者全員が菊



菊の花を手に、遺霊にお参りする遺族

大平、送り神遺跡の調査概要書を発刊



発刊された大平、送り神遺跡の調査概要書

教育委員会は、北松野台山、峰山山地で発掘された大平・送り神遺跡の調査概要書をこのほどまとめた。一冊二千円の原価で二百冊一般に販売します。

大平・送り神遺跡は、川商不動産がゴルフ場建設を計画した、北松野の山間地である台山、峰山周辺で土地開発工事に伴ない発見され、昭和四十八年八月から四十九年度にかけて発掘されたものです。

大平遺跡から検出された配石遺構は、富士川流域においては最大なものであり、学術的にも貴重な遺跡として注目されています。

富士川音頭 再度レコード化

富士川音頭と富士川小唄を再度収録したレコードが、まだ五十五枚残っています。原価(五百円)で配布していますので、希望者は教育委員会社会教育課へお尋ねください。

この富士川音頭は昭和三十三年富士川小唄は四十二年にそれぞれ町の唄として制定され、レコード

化されました。しかし、収録されたレコードが町内にほとんどなくなってしまうため、長期保存のうえから、新に東京のTレコード社に再製を依頼、保存することになりました。

再製されたレコードは三十三回転のドーナツ盤、A面に富士川音頭、B面に富士川小唄がふき込まれています。

同教委は、このレコード五百枚を作製、このうち百枚を町の保存用とし一般への貸し出しに応じ、残りの四百枚を原価で希望者に配布しており、すでに三百四十五枚が一般に配布されています。

山王遺跡「駿河山王」と

谷津原古墳の調査書も発刊

山王遺跡は、岩淵字南吉野の台地にあり、昭和の初期から複合古墳群として知られていた。しかし東名高速道路富士川サービスマエアの建設に伴ない破壊されることになり、昭和四十年三月から四十二年七月にかけて教育委員会が発掘したものです。

同教委は、この調査報告書をB5版、約二百ページにまとめた、「駿河山王」をこのほど発刊。内容は、一章から八章までに分かれて地理的、気候的条件や縄文時代か

自主的に 水路を清掃

水路をきれいに流れをよくして清潔で水害のない町内に、と旭町区(望月保区長)の第一中学校付近の住民約三十人は、岩淵製材(株)の水路を自主的に管理することになりました。

掃除は、当番制をつくり、山の中にゴミや木片、板などを拾い上げる。川の上に置いてある物は取除いて、川に落ちないように注意することを申し合わせ、十月二十八日から続けています。

市民ラジオは 免許を受けて正しく

最近「市民ラジオ」と呼ばれる無線機が、広く一般市民に利用されていますが、中には法令に違反して特殊な空中線を屋外や車両に設置して使用したり、電力の規定値〇・五ワットを大幅に上回る高出力のものや、許可されない周波数の電波を発射できる違法な機器を使用する者があり、これによる放送の受信や、他の無線通信に対する妨害が各地で発生しています。

これらの違反を取締っている東海電波監理局では、次のことを呼びかけています。

●現に、法令に違反する市民ラジオの機器を使用している人は直ちにその使用を中止すること

●これから市民ラジオを使用しようとする人は、あらかじめ電波監理局の免許を受け、正規の機器を使用すること。

●違法な市民ラジオを使用する者たちで構成された、クラブ組織等に加わらないこと。

●違法市民ラジオ等によって、テレビにしま模様が入ったり、ラジオに無線の通話音が混入するなどの妨害を受けて困っている人は、同監理局へご連絡ください。



アルコールは 公害病

その昔、酒は人類の特権階級により支配され、特別な機会にのみ使用されてきました。しかし、酒造りの機械化などによって、国内の何処にでも自動販売器が設置されている現代、四六時中自由に簡単にアルコール飲料水が入手できます。

したがって、酒醸造高も年々高くなり、飲酒者の増加も目立っています。このため、アルコール飲料水による身体的疾患も多くなり、中毒者が著しくみられます。この種の病気が、一度罹患すると治癒はなかなか至難なものと言われています。こうした酒害者は全国で百四十九万人に及び、表に出ない潜在酒害者の実数は測り知れないのが現状です。

アルコール中毒の問題は、単に個人に留まることなく、本人を取り巻く周辺と社会の中で種々の因果関係が絡み合い、酒害による家庭の崩壊、社会での非善な終末を迎えるのみならず、国家的損失は極めて大なるものがあり、そのため酒害は公害病とさえ言われています。世間の多くの人々は、酒が人体

に与える重大な影響に就いて、表層的には判っていても、酒害のもたらす実態を正しく理解しようとならない。過度の飲酒は、老化防止の大きな阻害因となっているのを忘れてはならない。長命を希うなら過度の飲酒は禁物です。「一杯飲みたい」と思う心情は既に、アルコール中毒症になっていることに気付いていない人が多いと思えます。

併しながらアルコール中毒者にとつて、過去の暗黒の時代「治らない病氣」から、現代の「治り得る病氣」として希望が持てる時代となつて参りました。これは医学の進歩もさることながら、断酒会員が、入退院後のアフターケアと言う重要な問題に密接に相話し、根気強く、この重き荷物を背負って日夜活動しているのも、その一因ではないかと確信しております。断酒会は、その活動展開の中で酒害者救済、酒害防止、酒害者撲滅など地域社会に浸透し、明るく社会づくりに専念しております。会員間に於いては、仲間意識の連帯感とその強化を図り、各人各自

医学 一口メモ

女性に多い貧血 偏食せず鉄分を多く

偏食せず鉄分を多く

一般に女性は男性に比べて貧血しやすいといわれます。これは女性として特有な生理と、妊娠、出産、そして疾患としての不正出血、さらには美容上の偏食などが考えられます。

そしてこの貧血は、多くの場合、鉄欠乏性の貧血であつて、思春期を境として圧倒的に多くみられるのです。また、妊娠すると胎児の発育上から、妊婦は大なり小なり貧血を呈します。

しかし、多くの場合は余力があつて貧血が補われるのですが、日常より貧血気味の人は、その余力がないため貧血は一層著明となり(経産婦は特に著明)

性回復のために重要な機関となりつつありますが、宗教ではありませんので合掌しただけでは幸せになりません。各人各様の実践の全てが幸せにつながるものです。

先ず最初に、自分自身の意志を固めてからです。酒による酒の為の必配ごとをお互いに話合つて見ましょう。やつて見なくては結果は得られません……。

(富士川断酒会長 千頭和勇)

このことは、母子保健上決して好ましいことではなく、妊娠出産時には、母子共にいろいろと障害を起しやすい一因となります。

大事なこと、自分の健康は自分で管理するという立前からいつても、また将来の妊娠、出産のことを考え合せても日常から偏食せず、鉄分の多い食生活を考慮することが大切です。

特に、思春期以降はその配慮が必要です。よく美容上から偏食を自慢している女性がいましが、これは大変な間違いです。

共立浦原総合病院 産婦人科医長 山田 耕司

名古屋市中区丸の内三

TEL九七一―三五七六

東静病院看護学校 来年の入学を募集

来年の入学を募集

国立東静病院附属看護学校では、来年度の入学を募集しています。募集人員は三十人、修業年限は三カ年です。

- ・入学資格 昭和五十一年三月高校卒業見込み、または高校卒業以上で、心身に健康で将来看護婦になるに適する者。
- ・願書受付 昭和五十一年十二月十五日〜五十二年一月二十日
- ・試験日 昭和五十一年二月三日、四日の二日間
- ・試験科目 面接、身体検査、筆記試験(国語、作文、数学)

詳しいことを知りたいかたは返信用の切手二百円を同封して駿東郡清水町長沢七六二―一、同看護学校に問合せください

農地転用は 許可が必要

地目が田や畑になっている農地を宅地に転用する場合は、町の農業委員会に転用許可申請書を提出し、県の農業委員会の許可を得なければなりません。この手続きをしないで、農地に住宅などの建物を建築すると罰せられますので、必ず手続きをしてください。

驚異の三連勝

町民大会で東町・日の出町

絶好の秋晴れの中、第十九回町民体育大会は、十月十日の体育の日に第一中学校グラウンドで開催されました。

グラウンドの周りいっぱい陣取った各区のテントには、約四千人の町民が集まり、競技に出場したり、出場選手に大声援をおくるなど、一日をスポーツで楽しめました。

競技は、親子二人三脚リレーを皮切りに、予戦決勝合わせて三十一種目を日程どおり消化しました。今大会では、男子二百斤競技で養恒男くんが十二年前の大会記録を○秒三破る、二十三秒九の大会新記録。また、婦人順送球で一位の東町・日の出町チームが二分三十六秒四、二位の本通チームが二分三十九秒二を記録し、従来の記録二分四十秒一（相生町）を破る大会新記録を樹立しました。

注目の総合優勝杯は、三年連続して東町・日の出町チームに輝きました。二位は宮町、三位に本通チームがそれぞれ入賞しました。

なお、応援賞は坂下チームに贈られました。



ゴールまであと一息だ／(町民大会)

相生町が優勝 郡婦人バレー

三町から十二チームが出場して郡婦人バレーボール大会は、十一月九日に由比小・中体育館で開かれました。

その結果、当町の相生町(花田富美江主将)と蒲原町の新田との間で決勝戦が行なわれ、二対〇でみごと相生町チームが優勝しました。

- 各種目の優勝チーム(者)
- ◇年齢別リレー 本通
- ◇六三リレー 東町・日の出町
- ◇婦人順送球 東町・日の出町
- ◇つなひき 新町・新町四十九
- ◇各種団体対抗リレー 青年団
- ◇事業所対抗リレー 本州製紙㈱
- ◇消防団リレー 第四分団
- ◇青年団リレー 青年学級
- ◇男子二百斤 養 恒男
- ◇千五百斤 橋本峯男

楽しかった文化祭

第二十一回町民文化祭は、十一月二、三日の両日、町立体育館前を中心に五会場で開催され、約二千人の人たちでにぎわいました。

身近な人たちの作品約四百点の絵画、写真、書道、盆栽、手芸が展示されている展示会場。コーラスや詩吟、舞踊など、日ごろの練習の成果を熱演している芸能祭会場。婦人会のバザーや劇団創炎のビヤガーデン、手づくりのワラジを売る老人の即売所、青年団のラーメン店、行儀作法もとやかに茶席も設けられている園遊会場に

大勢の人たちがおしよせ、作品を鑑賞したり、飲み物でのどを潤していました。

また、囲碁と将棋大会場では棋士たちが真剣に対局し、次の人たちが優勝しました。

◇将棋大会 村松巖吾
◇囲碁大会 長崎清登(A級) 高岡太郎(B級) 斉藤清市(C級)

なお、出品された作品の中から小笠原房子(書道) 池谷佐和子(絵画) 宮原邦夫(写真) 小糸梅



展示作品を見つめる人たち

子(手芸)の四氏が優秀賞に輝きました。

年賀状は

十二月二十日までに

毎年十二月になると、郵便物の量がふだんの二倍から三倍になり大へん混雑します。

このため、年賀状は十二月十五日から受付しますが、元旦に先方に届くためには、なるべく二十日までに郵便局へ出してください。

なお、郵便番号は忘れないで書きましょう。

また、小包は十二月十五日までに出してください。

◇まだ郵便番号簿を受取っていないかたは、郵便局へ申出れば無料で配布します。

一月5日まで

富原橋が片側通行

県は、県道富士川富沢線(富原橋)の橋梁維持修繕工事を十一月二十五日から施工しています。このため、来年の一月五日まで片側通行になりますのでご注意ください。

不満のかたは

検察審査会へ

交通事故、詐欺、暴行、その他いろいろの被害にあつて警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を裁判にかけてくれな

い。どうも納得できない。こんな不満をもっているかたはいませんか。そういうかたのために検察審査会があるのです。

みなさんのまわりにも検察審査会を利用すればよいのに、そのまま泣き寝入りしている人はいませんか、そういう人にもこの制度のあることを教えてあげましょう。

申立ては簡単で、費用は一切無料です。お気軽に静岡検察審査会にご相談ください。

静岡市追手町一〇〇八〇
静岡地方裁判所内
電話(053)521-6111

今月の納税

第四期 固定資産税の納期は 十二月二十六日までです 納期内に指定の金融機関へ納めてください。

心配ごととは気軽に 総合相談所を ご利用ください

・12月20日(土) 9時30分~15時
・老人福祉センター

校内を緑でいっばいに

— 1 小 —

手作りの菊で緑祭り

まず学校を緑でいっばいにし、将来は富士川町全体を緑ある美しい町にと、第一小学校(渡辺邦男校長)は、十一月八日、児童が苦心して作った菊の花をグラウンドいっばいに並べて、みどり祭りを楽

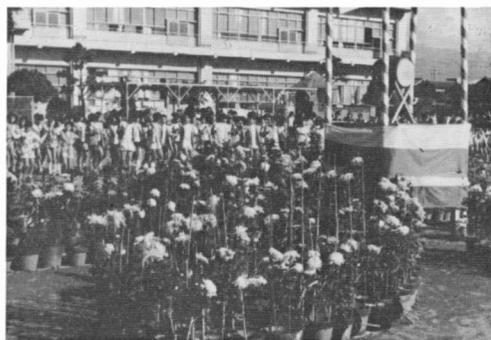
しみました。

同校では、創立百年を迎えた二年前から、校内の少ない緑に憂慮して「菊祭り」を開き、菊作りを通して児童の情操教育を進めてきました。

今年も、趣旨をそのままにしてさらに幅広い緑化運動推進を目指し、名称を菊から緑にかえ、菊だけでなくあらゆる「緑」の栽培に学校ぐるみで取り組むことにより、まず校内を緑豊かな環境にすることにしました。

この日は、グラウンドの中心にヤグラを立て、そのまわりに四月から丹精して育て、みごと白・黄・紫色の咲き乱れている児童の手作りの菊の花約千鉢が並べられ、見学にきた父兄も感嘆していました。

児童は、紙のハッピーにね



子どもが丹精こめてつくった菊

じり鉢巻姿でヤグラを取りまき、菊作りの苦心談の発表。日ごろお世話になっている婦交さんや交通安全協会の人たちに菊の花を贈呈しました。

このあと、児童が作詞・作曲したという緑祭りの歌をうたったり富士川音頭をおどり。最後に、各

こたつを寄付 創炎・いこいの家へ

劇団創炎は、十一月三日の文化の日に開いた即席ビヤガーデンの売上金で、老人いこいの家にこたつを一組寄付しました。「これから寒くなるので大変ありがたい」と老人たちは喜んでいました。

カラーテレビも寄付

久保田治重さん(清水町)は、九月十五日の敬老の日になんで老人いこいの家に二十インチのカラーテレビを一台寄付しました。

町へ寄付金

四月一日から十月一日までの間に、次の方たちから町へ寄付金が多寄せられました。

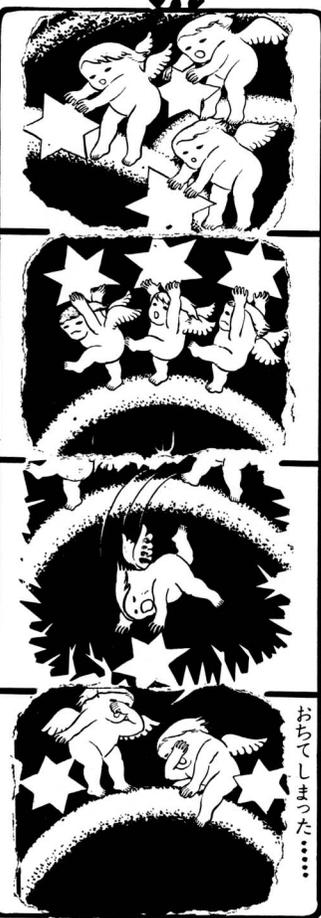
◇社会福祉費に (敬称略)

- 二〇万円 金指恭三 本通三
- 三万円 小永井由太郎 堺町
- 五万円 望月亀歳 東町一

◇教育費に

- 五〇万円 池谷巳代 本通四
 - 四〇万円 秀村敏朗 儘下町
 - 三〇万円 金指恭三 本通三
 - 一〇万円 芦川守正 木島
- ◇消防費に 五万円 望月 実 清水町

星の子(61) 太田利三



おちてしまった……

